



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年1月31日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 斉藤 隆 (TEL) 03-3462-8138  
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	9,453	△3.6	1,349	△12.0	1,629	△8.6	1,158	△26.3
28年3月期第3四半期	9,805	△4.9	1,532	△21.1	1,783	△19.2	1,572	△3.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	84.50	—
28年3月期第3四半期	114.81	—

※当社は、平成27年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、1株あたり四半期純利益は、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	44,273	38,737	87.5
28年3月期	42,849	37,378	87.2

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期38,737百万円 28年3月期37,378百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	40.00	40.00
29年3月期	—	—	—		
29年3月期(予想)				40.00	40.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,320	△3.0	1,620	△11.8	1,920	△9.1	1,340	△24.3	97.74

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

## ※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無  
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

## (3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数（四半期累計）

29年3月期3Q	16,500,000株	28年3月期	16,500,000株
29年3月期3Q	2,785,442株	28年3月期	2,800,642株
29年3月期3Q	13,709,288株	28年3月期3Q	13,700,052株

- (注) 1. 当社は、平成27年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。  
2. 当社は、「役員報酬BIP信託」を導入しており、当該信託が保有する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式に含めております。

## ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

## ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する説明	2
（2）財政状態に関する説明	3
（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
（3）追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
（1）四半期貸借対照表	4
（2）四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
（3）四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成28年4月1日から平成28年12月31日まで)におけるわが国経済は、景気は緩やかな回復基調で推移したものの、個人消費の回復は依然として鈍く、新興国等の海外景気の減速に対する懸念や、英国の欧州連合(EU)離脱問題、米国の大統領選挙の影響等、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、中期経営計画(平成27年4月から平成30年3月まで)において「ポジティブエイジングケアカンパニーとして、健やかに、美しく、歳を重ねることに貢献する」という事業ビジョンに基づき、「持続的成長に向けた新規事業領域の確立」を基本方針として「新規事業領域の成長基盤の構築」「薬用養命酒の収益体質の維持」「生活者視点に立った事業活動を基盤としたCSR経営の推進」の各施策に取り組んでおります。

当第3四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が前年同四半期を下回り、「その他商品・サービス」の売上は前年同四半期を上回ったものの、売上高は9,453百万円(前年同四半期比3.6%減)となりました。利益面につきましては、営業利益は1,349百万円(前年同四半期比12.0%減)、経常利益は1,629百万円(前年同四半期比8.6%減)、四半期純利益は前年同四半期に計上した固定資産売却益がなくなったことなどにより、1,158百万円(前年同四半期比26.3%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

#### ① 養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は9,257百万円(前年同四半期比3.8%減)となりました。

##### <養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、販売促進の強化期を設け、主力購買層であるシニア層を含む幅広い年齢層に向けて「冷え症と寝付き」などの「複合症状」の解決や「胃腸を温める」ことによる「体質的・器質的な衰え」の改善を訴求し、新規顧客の獲得と継続飲用者の維持に努めました。また、提供番組へのテレビ広告、テレビスポット広告、新聞広告、交通広告、ラジオ広告、雑誌とのタイアップ広告等の各種広告に合わせて、店頭における什器導入を積極的に行うなど営業活動を強化し、更にドラッグストアチェーンとのタイアップ企画の実施や話題を喚起するためのウェブキャンペーン等を実施したものの、国内における「養命酒」の売上高は7,625百万円(前年同四半期比6.7%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、「養命酒」の知名度と購買意欲の向上を目指し、主要輸出先(台湾・香港・マレーシア・シンガポール)の市場環境に即した販売促進活動を実施しました。季節毎の商戦期において、店頭販売促進活動や、テレビ、ラジオ、雑誌、ウェブ広告、キャンペーン等を実施したものの、海外における「養命酒」の売上高は315百万円(前年同四半期比12.4%減)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は7,940百万円(前年同四半期比6.9%減)となりました。

##### <その他商品・サービス>

「酒類」につきましては、「フルーツとハーブのお酒」がSNS等で話題となったことや、新商品「琥珀生姜酒」「HER HERBS Hot wine」の投入等により取扱小売店が拡大しました。また、「フルーツとハーブのお酒」の輸出にも取り組みました。酒類全体では、売場提案や販促物による店頭露出の拡大、店頭での試飲会、季節毎の記念日企画等取扱小売店と連携した販売促進活動、ウェブ広告等を実施し、売上高は496百万円(前年同四半期比46.2%増)となりました。

「エイジングケア商品」につきましては、「食べる前のうるる酢ビューティー」の商品リニューアルや新たなフレーバー商品の追加による取扱小売店の拡大と通信販売に取り組み、各種販売促進活動、サンプリング等を実施しました。また、新商品「グミ×サプリ」「養命酒製造の黒酢」を発売したことにより、売上高は349百万円(前年同四半期比52.5%増)となりました。

「くらすわ・養命酒健康の森」につきましては、「くらすわ」は各種イベントの開催、新商品「五養粥」等の投入、レストランメニューの改定等を実施しましたが、卸売の売上が減少したことにより、売上高は「養命酒健康の森」の売上を合算し、443百万円(前年同四半期比10.7%減)となりました。

以上の結果、「酒類」「エイジングケア商品」「くらすわ・養命酒健康の森」にその他の売上を合算し、「その他商品・サービス」全体の売上高は1,316百万円(前年同四半期比20.5%増)となりました。

② その他

鶴ヶ島太陽光発電所と不動産賃貸の売上を合算し、売上高は195百万円(前年同四半期比8.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ1,423百万円増加し、44,273百万円となりました。これは主に有価証券が600百万円減少した一方で、売掛金が921百万円、投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の増加等により933百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ64百万円増加し、5,536百万円となりました。これは主に未払法人税等が326百万円減少した一方で、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が108百万円、固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が268百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ1,359百万円増加し、38,737百万円となりました。これは主に四半期純利益1,158百万円の計上及び配当金550百万円の支払により利益剰余金が608百万円、その他有価証券評価差額金が715百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績の動向等を踏まえ、平成28年5月10日に公表した平成29年3月期通期の業績予想を以下のとおり修正いたします。

第3四半期累計期間における「養命酒」の売上が計画を下回って推移したため、売上高は12,320百万円(前回予想比1,210百万円減)、営業利益は1,620百万円(前回予想比420百万円減)、経常利益は1,920百万円(前回予想比380百万円減)、当期純利益は1,340百万円(前回予想比230百万円減)となる見込みです。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この変更による当第3四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益は与える影響は軽微であります。

(3) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,698,343	3,076,370
売掛金	2,720,416	3,641,586
有価証券	4,300,145	3,699,983
商品及び製品	392,243	378,316
仕掛品	127,613	166,649
原材料及び貯蔵品	833,242	840,822
その他	206,043	229,037
流動資産合計	11,278,048	12,032,766
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,312,880	3,253,660
その他(純額)	3,162,149	3,064,166
有形固定資産合計	6,475,030	6,317,827
無形固定資産		
	99,282	197,553
投資その他の資産		
投資有価証券	17,014,741	17,945,994
長期預金	4,700,000	4,200,000
その他	3,287,955	3,584,475
貸倒引当金	△5,074	△5,074
投資その他の資産合計	24,997,622	25,725,395
固定資産合計	31,571,935	32,240,776
資産合計	42,849,984	44,273,542
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	310,070	371,682
未払法人税等	356,260	29,934
賞与引当金	204,714	109,645
その他	1,432,291	1,511,607
流動負債合計	2,303,336	2,022,869
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	3,120,132	3,465,025
固定負債合計	3,168,482	3,513,375
負債合計	5,471,819	5,536,245

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成28年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	690,705	690,705
利益剰余金	35,596,957	36,205,052
自己株式	△5,033,370	△5,002,566
株主資本合計	32,904,291	33,543,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,475,568	5,191,187
繰延ヘッジ損益	△1,695	2,918
評価・換算差額等合計	4,473,872	5,194,106
純資産合計	37,378,164	38,737,297
負債純資産合計	42,849,984	44,273,542

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	9,805,845	9,453,134
売上原価	3,195,136	3,133,611
売上総利益	6,610,708	6,319,522
販売費及び一般管理費	5,077,888	4,969,975
営業利益	1,532,820	1,349,546
営業外収益		
受取利息	17,523	27,740
受取配当金	217,047	239,143
その他	27,098	23,779
営業外収益合計	261,669	290,664
営業外費用		
支払利息	10,669	9,362
その他	807	1,404
営業外費用合計	11,477	10,767
経常利益	1,783,012	1,629,443
特別利益		
固定資産売却益	527,513	-
特別利益合計	527,513	-
特別損失		
固定資産除却損	6,177	13,243
特別損失合計	6,177	13,243
税引前四半期純利益	2,304,348	1,616,200
法人税、住民税及び事業税	696,000	422,000
法人税等調整額	35,423	35,710
法人税等合計	731,423	457,710
四半期純利益	1,572,924	1,158,489



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。